

能代産業廃棄物処理センターNo.2 処分場の ボーリング調査結果について

環境整備課

1 調査目的

平成29年度に掘削したNo.2 処分場に残存している廃油入りドラム缶の撤去に向け、その分布状況の把握を目的に、ボーリング調査を実施した。

2 ボーリング実施期間

令和元年7月9日～7月26日

3 調査方法

- 調査地点は、掘削法面に廃油入りドラム缶が残存している箇所周辺の10地点とした。
- ボーリングは、自然地盤が確認できる深さまで実施し、廃油入りドラム缶の有無を確認するため、ボーリングコアを採取し、その性状を確認した。

※ボーリングコア：ボーリングで得られた円柱状の試料

4 調査結果

- 10地点のいずれにおいても、埋め立てられている廃棄物は木くずやがれき類を主体とするもので、ドラム缶の存在を推測できるような金属片に挟まれた空洞は確認できなかった。
- 各地点におけるボーリングコアの性状等は、別表のとおりであった。

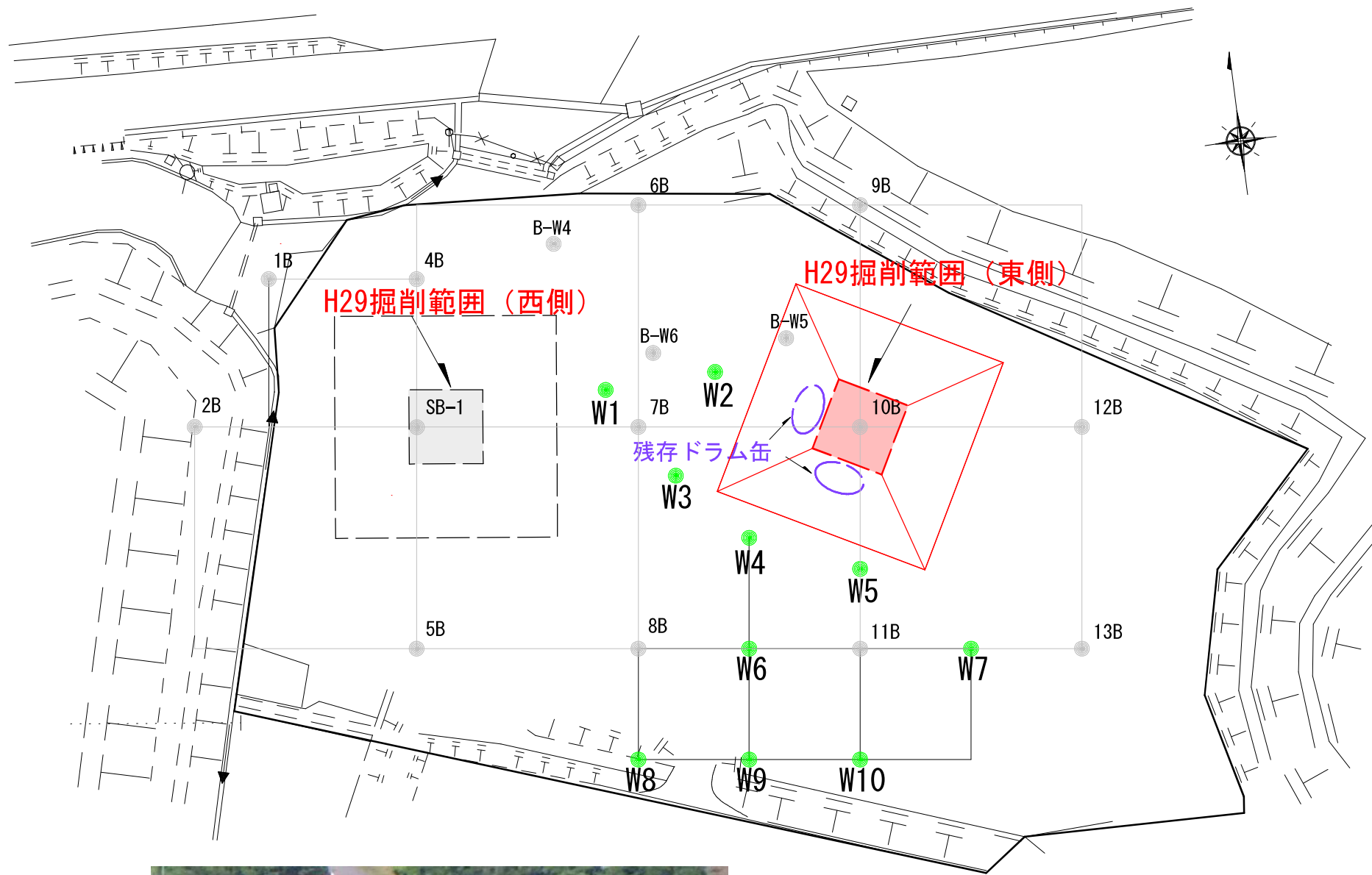
5 今後の予定

- ボーリング調査結果等から廃油入りドラム缶の分布範囲を推定し、能代産廃に係る環境保全対策部会（有識者4名で構成）の意見を伺った上で、地元住民団体や能代市をメンバーとする環境対策協議会の場で、掘削撤去工事の範囲等について合意形成を図る。

<別表：ボーリングコアの性状>

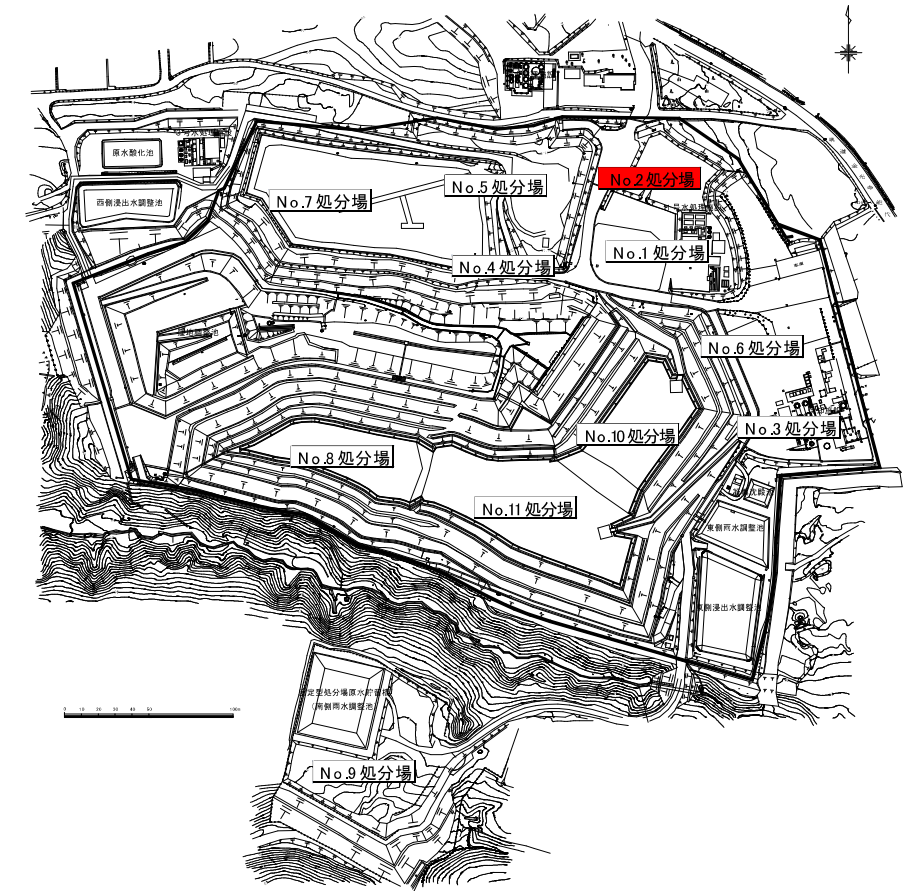
調査地点名	ボーリングコアの性状
W 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラム缶と同程度の厚さの板状の金属片あり ・板状の金属片の周辺に溶剤臭あり
W 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部にわずかに油臭あり
W 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部にわずかに油状物質が付着した土砂あり
W 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部にわずかに油状物質が付着した土砂あり
W 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部に油状物質が付着した土砂あり
W 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラム缶と同程度の厚さの板状の金属片あり ・板状の金属片の周辺に油状物質が付着した土砂あり
W 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部にわずかに油臭あり
W 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部に油状物質が付着した廃棄物あり
W 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部に油状物質が付着した土砂あり
W 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリングコアの一部に油状物質が付着した土砂あり

No. 2処分場のボーリング調査箇所



- 【凡 例】
- : 今回のボーリング地点
 - : 過去のボーリング地点

能代産廃廃棄物処理センター 処分場区画図



航空写真

